

ニュースクリップ & 映像教材

- 「教育映画等審査規程」の一部改正について
- 「2005年教育映像祭優秀映像教材選奨」募集開始
- 日本教育メディア学会「2005年度第1回研究会」発表の募集
- 「New Education Expo2005」開催
- 松下教育研究財団「第31回実践研究助成」ならびに「第12回研究開発助成」助成先決定

文部科学省情報

■「教育映画等審査規程」の一部改正について

文部科学省では、映画その他の映像作品、および紙しばいについて、教育上価値が高く、学校教育または社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定し、あわせて教育に利用される映像作品等の質的向上に寄与するために、教育映像等審査規程に基づいて映像作品等の審査を行っている。今般、メディアの多様化に対応するため、新しいメディア（DVD等）に記録された映像等の審査を行うことができるようにするとともに、映写手数料の改定を行うため、当該規程の改正を行った。

〈改正の内容〉

①審査対象の見直し

メディアの多様化に対応する

ため、DVDなど現行において審査の対象となっていないメディアについても審査の対象とすることとする。

②映写手数料の単価改定

35ミリメートル映画フィルムの映写手数料を、現状の設備、映写方法に合わせるため単価を改定する。

③審査の基準の追加

新しいメディアに記録された映像等を審査の対象とすることに伴い、操作方法に関する事項を審査の基準に追加する。

④選定教育映像等以外の情報を記録する場合の申告

新しいメディアの記録容量の増加に伴い、選定教育映像等以外の情報が記録され、頒布されることが想定されることから、選定教育映像等の信頼性を確保するため、選定教育映像等以外の情報を記録する場合には、文部科学大臣にその内容を申告し、

確認を受けることとする。

〈施行期日〉

平成17年4月1日

*「教育映像等審査規程」については文部科学省ホームページにて公開。

<http://www.mext.go.jp/>

協会情報

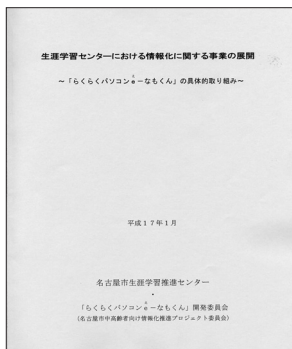
■「2005年教育映像祭優秀映像教材選奨」募集開始

日本視聴覚教育協会主催による標記選奨は、「教育に利用される映画、ビデオ、DVD、スライド、コンピュータソフトウェア（CD-ROM）等、映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に、次の要領で開催される。

〈部門〉

学校教育、社会教育、職能教育、児童劇・動画（映画のみ）、教養、一般教養（コンピュータソフトのみ）
〈参加資格〉（各部門共通）

資料紹介



「生涯学習センターにおける情報化に関する事業の展開～『らくらくパソコンえーなもくん』の具体的な取り組み～」

名古屋市生涯学習推進センター
平成17年1月発行

必要な情報を誰もが、いつでも、どこでも簡単に送受信できる高度情報化通信社会に向けて、名古屋市では「格差のない情報化の推進」をめざしている。その取り組みとして、総務局・市民経済局・教育委員会、さらには、大学関係者・NPOが連携した「らくらくパソコンえーなもくん」の開発・普及（名古屋市中高齢者向け情報化推進プロジェクト）が進められている。

「らくらくパソコンえーなもくん」とは、中高齢者が操作しやすいソフト開発とそれに対応したテキストおよび教育カリキュラムの整備、それらの普及活動と、中高齢者がパソコンを使いたくなるような状況整備など、総合的に中高齢者の情報化推進を図る事業の総称名になっている。この資料は同プロジェクトの

具体的な取り組みについて、その背景や進展状況、特に、生涯学習センターとの関わりについて報告されている。

生涯学習センターには、「普及啓発の学習拠点としての役割」「地域人的教育資源との結びつきを生かした、『学びの還流』のコーディネータの役割」が望まれているという。これまで、本生涯学習センターでは、IT講習の実施後、パソコンボランティアの育成と、IT関係事業が市民の学習成果を生かして進められている。同プロジェクトの運営にも、この市民スタッフが一役かっているという。

他の生涯学習センターや公民館、視聴覚センターなど、社会教育施設において、IT講習のその後のあり方についての参考となる1冊である。

平成16年6月1日～平成17年5月31日までに完成し、一般に市販されるもの。

〈表彰〉（各部門共通）

○最優秀作品賞（文部科学大臣賞、日本視聴覚教育協会会長賞）

○優秀作品賞（日本視聴覚教育協会会長賞）

〈締切・問い合わせ先〉

平成17年6月1日（水）までに、下記へ申し込むこと。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル

（財）日本視聴覚教育協会

TEL 03-3591-2186

FAX 03-3597-0564

http://www.javea.or.jp

研究会情報

■日本教育メディア学会「2005年度第1回研究会」発表の募集

日本教育メディア学会では、放送教育に関するフィロソフィーや方法論、実践例などに関す

る発表を中心に構成した標記研究会を開催する。これに際し、研究会での発表者の募集を開始した。

〈開催日時〉

平成17年7月9日（土）

13:30～17:00（予定）

〈開催場所〉

大阪市立大学・文化交流センター（大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6F）

〈研究会テーマ〉

「放送教育の伝統と刷新」

〈発表申し込み〉

eメールにて氏名、所属、発表タイトルを送る。発表は学会会員でなくとも可。締め切りは5月15日（日）。

kihara@lit.osaka-cu.ac.jp

〈問い合わせ先〉

大阪市立大学・大学院文学研究科 木原俊行氏

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL 06-6605-2461

■「New Education Expo 2005」開催

New Education Expo2005実行委員会主催による、標記セミナーが、東京と大阪で開催される。10回目を迎える今回は、「教育の情報化」、「教育制度改革」、「あたらしい学校づくり」、「これからの授業運用実践」、「地域教育ネットワークの利用」、「新学習指導要領に対応した教材整備」、「学校のセキュリティ」等をテーマに開催される。

〈開催場所・開催日〉

○東京会場：平成17年6月2日（木）～4日（土）東京ファッションタウン（東京都江東区有明3-1）

○大阪会場：平成17年6月8日（水）～9日（木）大阪マーチャндаイズ・マート（大阪府中央区大手前1-7-31）

〈詳細ならびに申し込み〉

ソフトウェア

Sky株式会社は、統合型授業支援ソフトウェア「SKYMENU Pro Ver.7」(スカイメニュープロバージョン7)を開発、「SKYMENUシリーズ」のラインナップとして2005年6月から販売を開始する。

「SKYMENU Pro Ver.7」は、コンピュータ教室や校内ネットワークの運用により、学校全体の情報インフラをトータルにサポートする授業支援ソフトウェア。

今回のバージョンアップでは、学校のコンピュータのより一層の活用のために、先生と子どもたちの“普段の使用”を考慮し、操作性の改善、機能の追加を行った。

〈主な特長〉

■サポートボタン

操作中に困ったことがあっても、画面上にあるサポートボタ



統合型授業支援ソフトウェア
「SKYMENU Pro Ver.7」

〈問い合わせ〉

Sky株式会社

TEL 06-4807-6382

<http://www.skygroup.jp/>

ンをクリックすると、その場で専用のサポートホームページが表示される。

■SKYMENUランチャー

授業でよく使うアプリケーションを、SKYMENUランチャーからボタンひとつで起動できる。

■かんたんログイン

キーボード入力の難しい小学校低学年の児童向けに、マウス操作だけで認証が行える仕組みを用意。

■ユーザ名表示

コンピュータを使っているユーザ名が常時画面に表示される。

■メール

操作の簡単な「学校向け電子メールクライアント」を用意。

〈価格〉

オープン価格

※詳細はお問い合わせください。

詳細は、順次決定のつど、下記のホームページにて公開。参加申し込みもホームページより。

<http://expo.uchida.co.jp>

〈問い合わせ先〉

New Education Expo事務局

(株)内田洋行 教育システム事業部営業企画課内

TEL 03-5634-6397

FAX 03-5634-4088

コンクール情報

■松下教育研究財団「第31回実践研究助成」ならびに「第12回研究開発助成」助成先決定

当財団による標記助成先が決定した。「実践研究助成」は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画への助成を行うもので、今回の助成総数は60件である。また、「研究開発助成」は、視聴覚メディアを活用してより豊かな人

間性を育成する研究や、新しいメディア活用の方向性を示唆する独創的な研究開発への助成で、今回の助成件数は15件である。

〈助成先〉

(財)松下教育研究財団のホームページ参照

<http://www.mef.or.jp/>

短 信

■文部科学省生涯学習政策局参事官付の異動

○参事官：森本浩一氏→(独)海洋研究開発機構経営企画室研究企画統括(後任・研究振興局量子放射線研究課長＝小川壮氏)

○庶務係長：岩倉禎尚氏→スポーツ・青少年局青少年課庶務係長(後任・参事官付企画調査係長＝林健悟氏)

○メディア係長：眉山俊敬氏→千葉県野田市立第二中学校教頭(後任・千葉県総合教育センター情報・調査資料科＝秋元大輔氏)

○企画調査係長：林健悟氏→参事官付庶務係長(後任・生涯学習政策局政策課総務係主任＝原田清光氏)

○メディア係 [映画審査担当]：永松靖子氏→九州工業大学総務課企画広報係(後任・山形大学医学部学務課研究協力係＝池田久美氏)

○企画調査係：池ノ辺沙知氏→文化庁文化財部参事官付庶務係
○ネットワーク係 [組織改正]：濱平幸典氏(高等教育局国立大学法人支援課財務分析係)

○教育情報施策調整係：中原茂仁氏→内閣府政策統括官(沖繩担当)付参事官(総括担当)付企画調整第一担当主査(後任・男女共同参画学習課家庭教育支援室家庭教育企画係＝高島洋氏)

■(株)エルモ社の代表取締役社長小椋一彦氏が3月1日付にて取締役副会長に就任した。(後任は竹内清氏)